



糸島市立雷山小学校
2月号 校長 田中 健悟
令和4年2月1日

新型コロナウイルス感染症対策の徹底のお願い

現在、新型コロナウイルスの急速な感染拡大に伴い、本校だけでなく、糸島市内の多くの小中学校において学級閉鎖が相次いでいる状況です。

学校では、児童玄関前での検温、健康状況観察カードの点検、マスクの着用、手洗い・うがい、換気、消毒等、これまでの感染対策を徹底して継続していきます。

御家庭にも感染症対策をお願いしておりますが、特に、次の3点をお願いします。

- ①「健康状況観察カード」に記入漏れがないか確認し、提出させてください。
(検温や保護者サイン等の記入漏れ、カード提出忘れなどが毎日あります。)
- ②手洗いの際に使用する「ハンカチ」を身に着けているか確認し、登校させてください。
(どの学年にも、ハンカチ未着用・未使用の児童がいます。)
- ③マスクの換えを持たせてください。
(休み時間に運動する中で、汚れたり落としたりすることがあります。)
併せて、発熱等の症状が見られた場合は、これまで通り下記の対応をお願いします。

- 風邪や発熱等の症状が見られた場合は、学校に連絡の上、自宅で休養をお願いします。
- 学校で風邪や発熱等の症状が見られた場合は、早退となるため、お迎えをお願いします。
- 児童本人や同居家族がPCR検査受診となった場合、学校へお知らせください。

※児童本人や同居家族がPCR検査受診となった場合等、本人及び同居児童は「出席停止」扱いとなります。

- 土・日・祝日等に児童本人の陽性反応が確認され、学校と連絡がつかない場合は、糸島市役所（代表：323-1111）に必ず電話連絡をお願いします。

学級閉鎖期間中におけるオンライン授業の実施について

現在、糸島保健所のPCR検査者が急増しており、検査日や検査結果の連絡に日数を要する状況にあります。このため、糸島市教育委員会と保健所とで協議し、現時点では「学級閉鎖期間は、児童生徒に陽性が確認された日の翌日から5日間」を基本としているようです。

学級閉鎖となった場合、その期間中は、担任の健康状況にもよりますが、できる限りタブレット端末を活用し、オンライン授業等により、子どもたちが規則正しい生活や学習を進められるようにしていきます。基本的には、下記の日程で進める予定です。

【午前の部】	【午後の部】
①8:50～9:00 クラスルームへ入室	④13:50～14:00 クラスルームへの入室
②9:00～10:00 朝の会・オンライン授業	⑤14:00～14:20 課題の解説、宿題説明等
③10:00 クラスルームから退出（課題有り）	⑥14:20 クラスルームからの退出

2月・3月の主な予定 ※感染状況により変更となる場合があります。

2/3 (木)	薬物乱用防止学習 (5・6年オンライン)	3/ 8 (火)	地域集会 (新登校班の確認)
2/10 (木)	6年生を送る会 (各学級で録画視聴)	3/ 9 (水)	新登校班での集団登校開始 (～3/24)
2/16 (水)	第4回学校運営協議会 (実施未定)	3/16 (水)	修了式 (6年)
2/19 (土)	土曜授業 (学年末分散参観) (中止) 2分の1成人式参観 (4年生) (中止)	3/17 (木)	卒業証書授与式 (6年生) (1～5年生 お休み)
2/26 (土)	P T A環境作業 (実施未定)	3/24 (木)	修了式 (1～5年)
3/ 2 (水)	スマホ・ケイタイ安全教室 (3～6年)	3/25 (金)	～春休み

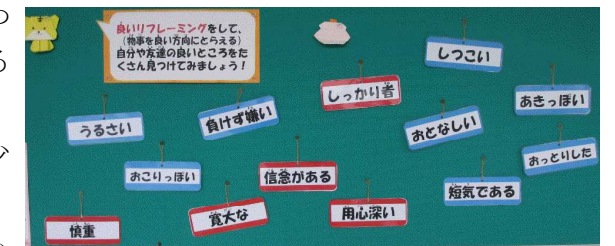
「福岡県コロナ警報」の発動に伴い、学校の感染拡大防止対策として、2月に予定していましたが土曜授業（学年末分散参観、2分の1成人式参観）を中止とすることとなりました。3月に予定しています集団登校においても、今後の感染状況により、期間を短縮するなど変更することがありますので、御了承ください。

言葉のリフレーミングで、自分や友達のよさを見つけよう

現在、コロナ禍の中で、社会全体で様々な行動制限が求められ、全国的に大人だけでなく、子どもたちにも心的ストレスによる影響が出ていると言われています。

放課後や休日等においても、外出や活動等が制限され、コミュニケーションの機会や体を動かす機会が減り、逆に、テレビ・ネット動画・ネットゲーム等のメディアに触れる時間が増え、ストレスや心理的不安から、苛立つ感情やネガティブな感情が生じやすくなることなどが考えられます。

学校においては、そのような気持ちが少しでも減少するように「リフレーミング」という考え方を保健室前の掲示板で子どもたちに紹介しています。



【リフレーミング紹介：養護教諭作成】

「リフレーミング」とは、言葉や出来事の捉え方を変えて、見方を変化させることです。例えば、コップに水が半分入っている状況を見て「もう半分しか水が残っていない」と思うのではなく、「まだ半分も入っている」と捉えることで、見方がポジティブに変わります。

言葉でも、「忍耐力がない」は「切り替えが早い」に、「負けず嫌い」は「向上心がある」に、「一つのことが続かない」は「好奇心が旺盛」に変換して、ポジティブに考えることを教えながら、子どもたちの心理的安定を求めていきたいと考えています。

子どもたちの「中庭の使い方」を変更しました！

これまで、学校の敷地内にある中庭に子どもたちが無断で入ることを禁止していましたが、子どもたちにとって大変魅力的であり、いろいろな動きが求められる場所であるため、職員で危険箇所の整備を行い、約束事を決めた上で、休み時間にも入ってよいこととしました。子どもたちは、安全に気をつけながら遊んでいます。



子どもたちは、安全に気をつけながら遊んでいます。